

令和6年能登半島地震被害に対する支援状況について（福祉保健部関連）

資料5

1 医療・保健・福祉に関するチームの派遣（予定を含む）

（令和6年2月15日現在）

	チーム名	チーム概要	派遣期間	派遣先	派遣人数 (派遣元)	派遣先での主な業務
1	災害派遣医療 チーム (DMAT)	急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。 1チーム当たり、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の4名を基本に構成。	1/18～2/4	穴水町	延べ6チーム 32名 (災害拠点病院)	穴水町保健医療福祉調整本部での指揮調整機能等への支援
2	県保健師 チーム	災害時にニーズが高まる避難者の健康支援・衛生管理業務を行う保健師業務の支援のため、保健師2名及び業務調整員1名を基本に構成。	1/19～3/31	珠洲市	延べ18チーム 56名 (本庁・保健所等)	避難所での住民の健康支援・衛生管理業務、在宅での要支援者の健康管理業務など。
3	災害派遣 精神医療 チーム (DPAT)	専門性の高い精神科医療の提供及び精神保健活動の支援のために、現地のニーズに合わせ、精神科医師、看護師、薬剤師、保健師、精神保健福祉士等により、1班当たり3～4名程度で構成。	1/25～1/29	金沢市 (石川県庁)	延べ2チーム 6名 (DPAT先遣隊 登録医療機関)	県調整本部での指揮調整機能等への支援。
4	災害派遣福祉 チーム (DWAT)	災害時要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、避難生活中における生活機能の低下等の防止を図るため、社会福祉士、介護福祉士等により、1班当たり3名程度で構成。	2/6～2/29	金沢市 (石川県庁)	延べ7チーム 20名 (県内社会福祉 施設の職員等)	避難所での災害時要配慮者に対する福祉支援を行う各都道府県DWATの後方支援。
5	災害時健康 危機管理支援 チーム (DHEAT)	被災県の保健医療福祉調整本部及び保健所の指揮調整機能等への支援のため、公衆衛生医師、保健師等により1班当たり5名程度で構成。	2/18～2/29	金沢市 (石川県庁)	1チーム 8名 (本庁・保健所等)	県調整本部での指揮調整機能等への支援。

※ 上記のほか、日本水道協会、日本医師会災害医療チーム（JMAT）、薬剤師会、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）、日本赤十字社、県社会福祉協議会等の宮崎県組織が被災地派遣を実施。

また、県から厚生労働省に対し、民間施設から派遣可能な介護職員等のリストを提出し、介護施設からの職員派遣も行われている。

2 その他

- 災害義援金募金箱の設置（本庁：1/5～、出先機関：1/9～）。